会　　議　　録（要点記録）

会　議　名	第３８期第９回小金井市公民館運営審議会		
事　務　局	公民館		
開　催　日　時	令和８年８月２６日（水）午前１０時００分から午前１１時２０分		
開　催　場　所	小金井市公民館本館　学習室Ｂ		
出　席　委　員	大坪委員長　倉持副委員長　福井委員　関委員　嶋田委員 石原委員　池本委員　川上委員　武田委員		
欠　席　委　員	小勝委員		
事　務　局　員	鈴木公民館長　諏訪庶務係長　落合事業係長　八方貫井南分館長		
東分館・緑分館・貫井北事業運営受託者	ＮＰＯ法人市民の図書館・公民館こがねい 鈴木東分館長　伊藤貫井北分館長　倉本緑分館長		
傍聴の可否	可	傍聴者数	０名
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会　議　次　第	１　開会 ２　第８回公民館運営審議会の議事録の承認について ３　審議事項 公民館事業の計画について ４　報告事項 ⑴　公民館事業の報告について ⑵　公民館施設使用料導入に係る報告について ５　その他 次回日程 ６　閉会 配付資料 資料１　公民館事業の計画 資料２　公民館事業の報告		

会　議　結　果

1　開会

【大坪委員長】

これより第３８期第９回公民館運営審議会を開催する。

2　第８回公民館運営審議会議事録の承認について

【大坪委員長】

第８回公民館運営審議会の議事録については、承認ということでよろしいか。

（異議なし）

3　審議事項

公民館事業の計画について

【落合事業係長】

資料１を御覧いただきたい。４館１３事業で各分館長から、説明させていただく。

【八方貫井南分館長】

３事業の１つ目、成人学校「秋の便り絵手紙を描こう」は、以前、高齢者学級で好評であった講師にお願いする。絵の具や色鉛筆を使い、完成後はお互いの感想を述べ合うつくりで考えている。

市民講座「野生動物と人間の共生」は、日本各地で熊が出没するというニュースを踏まえた内容で、企画実行委員からの提案講座である。

市民講座「あなたの睡眠を見直しましょう」も高齢者学級で好評であり、幅広い世代の方への実施を計画している。

【鈴木東分館長】

１１月以降の３事業で、「やさしいコーラス体験講座」は、初心者向け講座で、発声法、呼吸法、音の取り方などを学ぶ講座である。

市民講座「生成ＡＩ社会を生きる」は、公民館重点施策の一つのＩＣＴを活用した事業の関連の企画で、生成ＡＩは、急速な普及とともに、著作権などの課題も多く出てくるといったことから、双方を学ぶ講座で、１０年以上前より研究し、著書も出している大学の先生が講師であり、若い人の参加も念頭に置き、土曜日に設定している。

生活課題講座は物価高対策に係る講座の企画で、２０２０年を基準とした場合、食品は約３割上がっていると言われ、家庭でもかなり厳しい状況になっている。少しでも家計に優しくできるようなことをファイナンシャルプランナーの先生と一緒に考える講座となっている。

【倉本緑分館長】

国際交流イベント「インドを知ろう―多様性と共生の世界から」は、インドの今や、少数民族について学ぶ２回連続講座で、１回目が「インドってどんな国？　カーストからＩＴまで」、２回目が「インドの砂漠に潜ってみよう「トライブ」の人々の世界」で、世界で人口第１位という、関心の高い国である。講師には、東京学芸大学准教授

の小西公大先生にお願いする。
成人学校「文化人類学者が語る手塚治虫的ゆらぎの世界」は、手塚漫画をひもときながら、手塚治虫の創造性について考察する。そして、漫画に描かれているキャラクターについて考えながら、人間の業について考え、手塚治虫が伝えたかったことは何なのかということを想像し、文化人類学的見地から学ぶことを目的としている。２回講座で、こちらの講師も小西公大先生である。
成人学校「子育てパパとママのためのＭｅＴｉｍｅ―ヨガと共に」は、未就学児の子育て中の保護者を対象とした保育つきの講座で、思い切り体を伸ばし、リラックスしていただく時間を提供したい。また、子育て世代の交流も目的とし、全３回で、ヨガインストラクターｓｈｉｈｏ先生を招き開催する。
成人学校「ピラティスでカラダを整え健康になろう！マイナス５才！若返るコツ」では、インナーマッスルに働きかけ、体のゆがみなどの点検も行い、不調改善につなげながら日々の生活の質を高め健康への関心を高めるもので、ピラティスインストラクター、渡辺操先生を迎え全４回開催する。用具代は１１０円である。
男女共同参画講座「プロに学ぶ、ドリップ珈琲の淹れ方」は、嗜好性の高いコーヒーの入れ方を題材に、同伴者や参加者同士の学びの時間から、固定的性差による役割分担の意識にとらわれない体験により、男女共同参画の知識の啓発を図ることを目的として、地域の交流の場、行動変容につながればとの期待も含んでいる。全２回講座の１回目が初心者、２回目が中上級者と内容を分け、夫婦、パートナー、異性の家族や友人などのペアを対象とする。講師はコーヒー店経営で焙煎家の鈴木慎吾さんで、各回５組１０人で保育もあり、材料費２，０００円を予定している。

【伊藤貫井北分館長】
子ども・子育て支援「忙しいパパのための１２０分フィットネス」では、保育付きのパパ限定講座で、ママにはお家でゆっくり過ごしていただくようなイメージをしており、重点施策の家庭と地域をつなぐ施策の推進として実施する。講師は、以前にもお願いした市内のスポーツクラブのインストラクターである。
男女共同参画教育事業、共生社会講座は、「知ることから始まる～学芸員のお話と映画で考えるハンセン病問題」で、１月の最終日曜日がハンセン病の日であることから同日に設定している。清瀬の国立ハンセン病資料館の学芸員からのお話と、その後は、樹木希林さんが最後に出演した映画「あん」を鑑賞する。重点施策は、社会的包摂の実現に向けた学習に該当する。

【落合事業係長】
説明は以上で、御審議の上、御承認いただきたい。

【福井委員】
緑分館の「珈琲の淹れ方」の２人同伴参加は、講師からのリクエストによるルールであるのか。また、材料費２，０００円は、１人当たり１，０００円という金額で、お渡しするコーヒー豆も講師代金に含むものか。

【倉本緑分館長】

男性・女性のペアの参加については、公民館から講師に相談し、そうすることで、日々の生活の中で、男女共にできることを楽しくやれるという気づきにもつながるという期待を込め開催する。２，０００円の中には、引き続きコーヒーを入れ、楽しんでいただきたいという意味で、持ち帰りの豆も含まれている。

【池本委員】
全体的な話で費用を取るもの、取らないものは、どんな方針で運営されているのか。

【落合事業係長】
講座の運営方法は、公民館実施講座は原則無料で、資料等はこちらで用意し、材料費は、参加費として徴収している。

【関委員】
東分館の市民講座、生成ＡＩは講義のほかに、スマホやパソコンなどの実技もされるのか。

【鈴木東分館長】
先生にある程度教授していただくが、実技はない。詳細は分かりかねるが、パワーポイントの中で、生成ＡＩでイラストを作るようなことはあるのではないかと思っている。

【関委員】
スマホであれば、チャットＧＴＰをインストールし、実際チャットで体験することで、一層理解が深まるかなという感想です。

【鈴木東分館長】
東分館のＷｉ－Ｆｉ環境は、４０人の皆さんでとなると、対応が難しい。ただ、先生の説明により、試すことはやっていただけると思っている。

【大坪委員長】
今の関委員からは、生成ＡＩのセミナー的な、使い方の話だと思うが。

【鈴木東分館長】
生成ＡＩの利点とリスクの双方を捉えてお話をいただくことになっている。

【石原委員】
貫井北分館の子育て世代を対象とする対象年齢が書いていないが、１８歳ぐらいの子を持つ運動する時間がない保護者の応募は、可能であるか。未就学児であれば、自分の運動が取れないなどの想像もできるが、対象年齢をどの程度で考えているのか。

【伊藤貫井北分館長】
対象は小学生までの子育て中の男性と絞っており、保育は具体的には書いていない

が、公民館での保育サポーター講座を受講した方が対応し、おおむね２歳以上から小学生までとしている。

【嶋田委員】
　東分館のコーラスの体験講座では、著作権の関係の資料などの楽譜、歌詞カード等の取扱いはいかがか。

【鈴木東分館長】
　楽譜などは、あらかじめＪＡＳＲＡＣにも確認し、著作権料が発生する場合は納入手順を踏み、配布等行う予定である。

【倉持副委員長】
　緑分館のインドと手塚治虫の講座は、２日連続でという、なかなか珍しい形で、集中的に行うが、意図するところがあれば教えていただきたい。

【倉本緑分館長】
　日曜と祝日の連続開催は、普段は仕事などで参加いただけない方の学びの機会と、講師の都合もあり、時間を空けずに開催する。

【大坪委員長】
　貫井南の「野生動物の共生」は気になり調べたが、小池伸介さんは本を出しセミナーもされている方で、全国的に熊の問題、野生動物の問題が社会問題化されている中、社会的に二分している部分もあって、その着地点というか、あらかじめ考えた部分があれば伺いたい。

【八方貫井南分館長】
　方向性の着地点は、講師と確認していないため、改めてお答えしたい。

【大坪委員長】
　こういう可能性があるから皆さんでしっかり考えましょう、ぐらいで着地するのがいいが、現在の大きな社会問題で難しく、気をつけていただきたい。

【武田委員】
　「ドリップ珈琲の淹れ方」は男女共同参画で、同性のパートナーは対象外であるか。また、初心者コース及び中上級コース両方の受講は可能であるか。

【倉本緑分館長】
　同性のパートナーは尊重しながらと考えており、コースの両方受講可能かは今のところ確認していない。

【大坪委員長】
　それでは、公民館の事業計画について承認ということでよろしいか。

（異議なし）

４　報告事項

⑴　公民館事業の報告について

【落合事業係長】

４館７事業の報告で、内容については、資料２を御覧いただきたい。

【川上委員】

東センターと緑センターのまつりの年代と居住地人数が空白で、アンケートでは的確に取れないとは思うが、今後の運営のためにも、大体の年齢の傾向を伺いたい。

【落合事業係長】

文化活動事業の各センターまつり、公民館まつりは、正式な人数は出すことができず、あくまでも概算の人数の報告である。

【福井委員】

１ページのエンディングノート作りでは、参加者の２０名のうち、４０代、５０代の方が５名も出席し、いい意味で驚いた。５年前ぐらいにも、本館で同様講座があったが、その際は６０代、７０代ぐらいであった。

３ページの「温泉ぶらり旅のススメ」は、講師の石井宏子さんは温泉ビューティ研究家という方で、非常に面白い切り口の講座である。この方を検索したが、杏林大学等の講師で、温泉と医学を結びつけた日本でただ１人の研究家のようである。

７ページは、受講者２３名で、年代区分の不明１３名、市外・不明が１６名で、基本的には、受講の際の受付として、名前と年代と町名までは確認されているはずだが、図書館との連携事業で、受付業務に問題があったのではないか。館長には、ルール化を順守されている受付業務をお願いしたい。

【伊藤貫井北分館長】

連携講座は公民館の講座と違い、参加を明らかにしたくない、そういったところを尊重し行っている。障害をお持ちの方、家族が精神疾患の方といった当事者等が住まいを明かさずに話をしたいということもある。

福井委員のとおり、公民館の主催講座の対象は市内在住・在勤・在学としているが、連携講座は、さらにその枠を広げて多くの方に、そして市内の方々も、逆に深く省察できるような機会につながればと考えている。

【福井委員】

定員をオーバーし２３名が受けられたが、断った方がいるのか。受付業務をしっかりされているということではあるが、やはり公民館と同じルールに従い、共同事業でも、公の文書となるので、図書館分室にも協力をお願いしたいと思う。

【伊藤貫井北分館長】

受付の時点では、氏名、住所などを伺っていて、アンケートでの内容となるので御

理解いただきたい。
　応募申込者は２５名で定員は２０名であったが、お断りはせず、２名は当日欠席であった。

【福井委員】
　アンケートで町名も年代も言いたくないということで、基本的には、受付業務として名前が記載されるが、あえて強制できないというか、しなくてもいいということで、市民全員、年代、町名も言わないことでも受け付けるということなのか。

【池本委員】
　福井委員が言われているとおりで、分からないことがこんなにあるのはどうなのかは当然で、公民館は基本的に、市内在住・在勤・在学の方が使うべき場所で、この場合はどういうストーリーかが明確でないのではないか。

【落合事業係長】
　特に明確に報告事項等を定めていないが、講座の実施には、参加者を把握する必要は必ずある。ただし、伊藤分館長が伝えているとおりで、配慮する必要があることからこのような形となっている。

【大坪委員長】
　個人を尊重するべきではあるが、公民館運営であり予算も使われるので、審議会では共有し、公開には配慮するようなことで、建設的な議論のためにも整理していただきたい。

【落合事業係長】
　出されている資料は、公開の公文書になるので、載せることはできない。説明の中で工夫して報告したい。

【大坪委員長】
　記載方法は不明やそのほかでなく、非公開に修正が必要ではないか。

【落合事業係長】
　ここの不明と入っている部分は、本来８０代以上を修正した形であったが、報告方法を検討していきたい。

【関委員】
　全般的な話で、講座の申込方法と一番多い方法はいかがか。

【落合事業係長】
　公民館の講座の受付方法は、原則として、ｅメール、往復はがきと、市の申込みフォームでＬｏＧｏフォームが原則の３つとなる。ただし、講座の性質上で、電話のみの方法と限定する場合は、相談により判断する。数年前に議会から、複数の申込み方

法の検討を言われ、多角的に申込みいただけるよう努めている。最近では、往復はがきの利用は少なく、本館や貫井南分館では、フォームが多い。抽せんを原則としていて、先着順の電話というものもあるが、なるべく電話は控えている。

【関委員】
　ＬｏＧｏフォームは、ある程度のスキルがないとできないのではないか。
　より多くの参加者を募るには、どういった方向性でアピールしていくのが適切であるのか。

【落合事業係長】
　チラシに２次元バーコードを載せ、それを読み込めば申込みフォームに飛ぶ形の仕組みで、ほぼ８割方がそうであるので、最終的にはそこに傾くのではないか。しかし、多様な申込み方法は継続し、電話申込はトラブルが起こりやすいので、避けるようにする。

【石原委員】
　東分館のゴムてっぽうの実行委員の感想で、土曜の夏休みとあって、男性の保護者が多かったようだが、実際にはどのくらいか。

【鈴木東分館長】
　８組２０人の参加中１４人が男性で、うち父親は６人ぐらいと、お子さん二人の場合もあった。

【石原委員】
　８組の親子連れで、６人が男性は結構多い。昔遊びに近く、少年時代を思い出しての参加なのか、お父さんたちも公民館の利用、行きやすくするためにも継続していただきたい事業かと思う。

【鈴木東分館長】
　この事業は今回で３回目となり、毎年ではないが、毎回パパが多く、企画実行委員からも推される事業である。
　中村光児さんは日本ゴム銃射撃協会理事長で、テレビなどにも出演し、御自身のライフルみたいなゴム銃などを披露し、非常に盛り上がる講座である。

【嶋田委員】
　レザークラフトなどのものづくりイベントで、今回は皆さんほぼ作られたようだが、作り切れないときは、どの辺までフォローするのか。例えば講師の方に連絡できるとか、または、公民館に尋ねればなどのルールはあったりするものか。

【八方貫井南分館長】
　ものづくりで、水引を使ったお正月飾りを作成した場合では、担当と講師で、参加者の作成の進捗状況を確認しながら、後半の状況により、進んでいない方には全力で

サポートし、完成させる態勢を取っている。

【大坪委員長】
ほかになければ、先に進めさせていただく。

⑵　公民館施設使用料導入に係る報告について
【諏訪庶務係長】
各館に千円札と硬貨が使用できる券売機を設置した。
キャッシュレス決裁は、現在事務手続中で、おおむね３か月後ぐらいに開始する予定である。本日配付の月刊こうみんかん９月号に券売機の紹介もしており、御覧いただきたい。

【落合事業係長】
無料となる団体申請受付は、現状で１３５団体が申請し、承認している。

【鈴木公民館長】
来週９月２日水曜日から使用料徴収を開始する。この間、公運審の皆様にも多大なる御協力いただき、改めて感謝申し上げる。
現在、円滑に使用料の導入が始まるよう準備しており、運営に携わるＮＰＯ、シルバー人材センターの方を対象に説明会などを行い、おおむね準備が整った状況である。

【石原委員】
月刊こうみんかんに「電子マネーとかＱＲコード決済準備中」とは書いてあるが、見落として現金を持ってない場合はどうなるか。

【池本委員】
予約時に金額が出て、現金以外があるとは書かれていないので、基本的には現金を持ってくるのではないか。

【石原委員】
後納はなく、当日、使用前に払ってくださいという形であるか。

【落合事業係長】
そのとおりである。

【池本委員】
東分館や貫井南分館は、鍵のない部屋もあり、その場合、勝手に使えてしまえるのではないか。

【落合事業係長】
全ての諸室に鍵がかかっているわけではない。施設的に古い部分もあるが、受付し

書類等渡すことで使用できることになっている。

【嶋田委員】
社会福祉協議会に市民団体から、公民館使用で利用料が発生している。無料団体になるにはどうすればよいかという問合せがあった。社会福祉協議会では回答できないため公民館へと案内している。
公民館の利用の手引きの一部をお持ちになっていましたが、ホームページのリンク先のＱＲコードを載せると分かりやすいのではないかと思った。
今回の８月７日までの申請で、不承認となることもあるのか。

【落合事業係長】
ＱＲコードについては検討するが、現在、過渡期であり、今後の受付方法は、簡易的にすることを検討している。
現在全ての団体を承認しているが、場合によっては申請前に相談を受けている。

【川上委員】
有料の団体の具体的な中身は、どういった団体か。

【池本委員】
うちの団体はあえて無料申請はしていない。福祉でも何でもないし、自分たちの練習なり何かのイベントのために使っている。福祉だとかは申請したほうがいいと思う。

【落合事業係長】
公民館の使用料は条例で定めており、各諸室により金額が設定されている。公民館使用団体の登録団体は、２分の１減額で、それは、公民館は社会教育に資する活動を実施する団体に、諸室等を開放するような形で施設設置され、登録団体と認定されると、団体自身の活動が社会教育に資する活動になるため、減額措置をする。その中でも、市全体の社会教育に資する活動を主に取り組んでいる団体、障害をお持ちの方や援助団体、市全体の社会福祉に資する団体、また、１８歳以下の主たる方が活動している団体のいわゆる若年層の育成というところは、無料、あるいは免除という形になる。

【福井委員】
券売機での収入は、一般会計に入るとは思うが、どういうルートの流れとなるのか。

【諏訪庶務係長】
歳入に関しては、各館から集金をした後、伝票処理をし、みずほ銀行に納付する流れで歳入が確定される。

【福井委員】
締日はいかがか。

【諏訪庶務係長】
　月単位で把握する必要があり、釣銭の状況を見ながら月に何回かを想定して対応する予定で考えている。

【福井委員】
　公運審で毎月でなくても、数カ月おきの報告を検討いただきたい。

【諏訪庶務係長】
　検討する。

5　その他
【諏訪庶務係長】
　本日配付の都公連委員部会の公開研修会に参加を希望される方は、御連絡いただきたい。
　次回は、１０月１４日（水）午前１０時から公民館本館で開催の予定である。

6　閉会
【大坪委員長】
　それでは、第３８期第９回公民館運営審議会はこれにて閉会する。ありがとうございました。

―― 了 ――